

職業実践専門課程の基本情報について

学校名		設置認可年月日		校長名		所在地		
長岡公務員・情報ビジネス専門学校		平成27年3月31日		鈴木 栄一		〒 940-0047 (住所) 新潟県長岡市弓町1-8-37 (電話) 0258-35-1055		
設置者名		設立認可年月日		代表者名		所在地		
学校法人国際総合学園		平成7年3月24日		池田 祥護		〒951-8063 新潟県新潟市中央区古町通二番町541 (電話) 025-210-8565		
分野	認定課程名		認定学科名			専門士	高度専門士	
工業	工業専門課程		情報システム科			平成22年文部科学省告示 第三十号	-	
学科の目的	本校は学校教育法に基づき、商業実務関係、工業関係の専門課程を設置し、各分野の専門知識・技術を教授し、高度な専門知識・技術及び倫理観を有する人材を育成することをもって、社会に貢献し得る人材を輩出することを目的とする。							
認定年月日	平成27年2月27日							
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位数	講義		演習	実習	実験	実技
2	昼間	1990時間	468時間		955時間	568時間	0時間	0時間
生徒総定員	生徒実員		留学生数(生徒実員の内)	専任教員数		兼任教員数		総教員数
40人	42人		1人	3人		2人		5人
学期制度	■1学期:4月1日～9月30日 ■2学期:10月1日～3月31日 ■3学期:-			成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 評価の基準: 基準:A～Dの4段階 評価の方法: 検定結果、授業態度、確認テスト、期末試験等の総合評価			
長期休み	■学年始:4月1日～4月7日 ■夏 季:7月31日～8月18日 ■冬 季:12月21日～1月8日 ■学年末:2月15日～3月8日			卒業・進級 条件	卒業要件: 出席率90%以上、成績評価C評価以上、 進級要件: 全学年までの出席率90%以上、成績評価C評価以上			
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 個別ガイダンスの実施、補習授業の実施、メールによる相談の受付等			課外活動	■課外活動の種類 (例)学生自治組織・ボランティア・学園祭等の実行委員会等 長岡市イベントのボランティア等 ■サークル活動: 有			
就職等の	■主な就職先、業界等(令和4年度卒業生) 令和5年3月31日時点において、在学者42名(令和5年3月31日卒業者を含む) ■中途退学の主な理由 健康上の理由			主な学修成果	■国家資格・検定/その他・民間検定等			
40	■中退防止・中退者支援のための取組 実践行動学による動機付け、就学状況に応じたカウンセリング 保護者との情報共有に基づく連携							
経済的支援 制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 無 ※有の場合、制度内容を記入 (1)特待生制度…書類、面接、筆記による審査で認定ランクにより減免(G級入学金3万円、F級入学金4万5千円、E級入学金9万円、D級入学金9万円授業料10万5千円、C級入学金9万円授業料21万円、B級授業料53万円、A級入学金9万円授業料53万円、S級入学金9万円授業料82万円) ■専門実践教育訓練給付: 給付対象 ※給付対象の場合、前年度の給付実績者数について任意記載 給付対象者無し							
第三者による 学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: 無 ※有の場合、例えば以下について任意記載 評価団体: 0 受審年月: 0 評価結果を掲載した ホームページURL 0							
当該学科の ホームページ URL	http://njc-web.net/gakka_index/it01/							

(留意事項)
1. 公表年月日(※1)
最新の公表年月日です。なお、認定課程においては、認定後1か月以内に本様式を公表するとともに、認定の翌年度以降、毎年度7月末を基準日として最新の情報を反映した内容を公表することが求められています。初回認定の場合は、認定を受けた日以降の日付を記入し、前回公表年月日は空欄としてください

2. 就職等の状況(※2)

「就職率」及び「卒業者に占める就職者の割合」については、「文部科学省における専修学校卒業者の「就職率」の取扱いについて(通知)(25文科生第596号)」に留意し、それぞれ、「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」又は「学校基本調査」における定義に従います。

(1)「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」における「就職率」の定義について

①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものをいいます。

②「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含みません。

③「就職者」とは、正規の職員(雇用契約期間が1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいいます。

※「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等とします。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除きます。

(2)「学校基本調査」における「卒業者に占める就職者の割合」の定義について

①「卒業者に占める就職者の割合」とは、全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいいます。

②「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいいます。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしません(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う)。

(3)上記のほか、「就職者数(関連分野)」は、「学校基本調査」における「関連分野に就職した者」を記載します。また、「その他」の欄は、関連分野へのアルバイト者数や進学状況等について記載します。

3. 主な学修成果(※3)

認定課程において取得目標とする資格・検定等状況について記載するものです。①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの、②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの、③その他(民間検定等)の種別区分とともに、名称、受験者数及び合格者数を記載します。自由記述欄には、各認定学科における代表的な学修成果(例えば、認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等)について記載します。

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

・学外有識者、企業、業界団体等の意見をもとに専門分野の動向、要望を教育課程に取り入れ、実践的かつ専門的な知識・技能を持った人材育成教育を実施していく。

□

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

教育課程編成委員会においては、既に実施されている教育課程の編成について内容と実績についての説明を行い、それを踏まえて企業、業界団体等の委員からは、より実践的かつ専門的な教育課程が編成できるよう意見、要請を頂く。その場での質疑応答を行うとともに、その後の継続的な校内での検討や、必要に応じた日頃からの連携を基に、教務責任者が中心となって定期的にカリキュラム改善等の教育課程編成につなげる。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和6年2月13日現在

名 前	所 属	任期	種別
阿部 正喜	にいがたデジタルコンテンツ推進協議会	平成29年4月1日～	①
中村 智彦	株式会社ブレーク	令和3年4月1日～	③
高山 宏明	北越印刷株式会社	令和2年4月1日～	③
米井 翔	株式会社インフォテック・サーブ	令和6年2月5日～	③
山口 昌一	長岡公務員・情報ビジネス専門学校 副校長	令和3年4月1日～	
秋丸 進也	長岡公務員・情報ビジネス専門学校 教務部長	令和3年4月1日～	
片野 史高	長岡公務員・情報ビジネス専門学校	令和2年4月1日～	
村島 敏治	長岡公務員・情報ビジネス専門学校	令和3年4月1日～	
酒井 理恵子	長岡公務員・情報ビジネス専門学校	令和3年4月1日～	

※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

(当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「－」を記載してください。)

①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)

②学会や学術機関等の有識者

③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回(8月・2月)

(開催日時(実績))

第1回 令和4年8月19日 16:00～17:00

第2回 令和5年2月28日 16:00～16:30

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

・基本情報と応用情報というよりは、基本情報と情報セキュリティマネジメントのダブル資格が良いのではとのご意見があり、次年度に反映していきたい。・今のトレンドにあった言語選択はということでスマホ時代でそれにマッチした言語としてJava,Kotlin,C#,Swift等を検討してみる。・第一言語はCが良さそうでプログラミングの根本となる考え方を学べる。ポイント等C特有の情報は省略し、模擬言語の実証としてのCを学ぶアプローチ)

2.「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

プログラマを始めとするIT関係の業務を行うにあたっては、資格や知識を修得するだけではなく、実践力を身に付ける事が重要になってくる。校内にて演習・実習を行うにあたり、IT関係の業務を行っている企業と連携し意見を頂くことで、より実践的な内容を校内での演習に取り入れ、実務に就く前に実践力を向上させることを図っていく。更に、実際に実務の現場にいる企業人の方から、指導・アドバイス頂くことで、社会人として必要な意識の育成も支援していく。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

・各授業内容に関して、指導する講師が実務の現場にいる企業人の方と事前に打ち合わせを行い、指導に利用する教材、重点を置くべき内容や実践的な指導方法についてアドバイスを頂く。また、授業の成果物に対して、その内容を企業の方から評価して頂くとともに、指導・アドバイスも頂くことで、生徒の意識を高める。

40

(1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

・教員に必要な実務上の知識、技術や指導力の向上を目的として、組織的な研修を行っていく。

研修に関しては、専攻分野における実務に関するもの、指導力向上に関するもの、諸法規・諸規定に関するもの、その他一般的な知識や情報に関するものなどとし、上長からの指示または本人から申出により各職員最低年1回の機会を確保するものとして、年度当初の教務会において指示する。

(2)研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名:	JavaScriptに学ぶプログラミング超入門①	連携企業等:	アシアル情報教育研究所
期間:	令和4年6月9日 16:30~18:00	対象:	教員
内容	Monacaというクラウド上で動く開発環境アプリを使いJavaScriptを学ぶ。HTML/CSS/JavaScript		
研修名:	JavaScriptに学ぶプログラミング超入門②	連携企業等:	アシアル情報教育研究所
期間:	令和4年6月16日 16:30~18:00	対象:	教員
内容	Monacaというクラウド上で動く開発環境アプリを使いJavaScriptを学ぶ。HTML/CSS/JavaScript		
研修名:	SNSリスク	連携企業等:	株式会社エステル
期間:	令和4年9月27日 16:30~17:30	対象:	教員
内容	SNS利用における注意ポイント		

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名:	ハラスメント研修	連携企業等:	社会人保険労務士法人
期間:	令和4年5月19日 16:00~17:00	対象:	教員
内容	コミュニケーション改革 職場内、学生対応におけるコミュニケーションや指導について		
研修名:	「魅せるスライドの作り方」	連携企業等:	EDTECH
期間:	令和4年10月18日 16:00~17:30	対象:	教員
内容	デジタルコンテンツを活用した効果的な指導法を身に付ける。		
研修名:	「学生のモチベーションマネジメント」	連携企業等:	EDTECH
期間:	令和4年10月26日 16:00~17:30	対象:	教員
内容	資格試験の更なる合格率の向上、ひいては学生の満足度向上につながる。		

(3) 研修等の計画		
① 専攻分野における実務に関する研修等		
研修名:	生成AI時代におけるビジネス変革のためのAI活用	連携企業等: グーグルクラウドジャパン
期間:	令和5年8月24日 15:20～15:50	対象: 教員
内容	0	
研修名:	Society 5.0実現に向けたデジタルによる都市と企業の価値向上	連携企業等: 日立製作所
期間:	令和5年8月23日 14:10～14:40	対象: 教員
内容	0	
研修名:	0	連携企業等: 0
期間:	0	対象: 0
内容	0	
② 指導力の修得・向上のための研修等		
研修名:	ChatGPTが変える事業戦略	連携企業等: Tech Play
期間:	令和5年7月12日 10:30～11:30	対象: 教員
内容	特化型アシスタントAIから始めるAIインフラ時代	
研修名:	0	連携企業等: 0
期間:	0	対象: 0
内容	0	
研修名:	0	連携企業等: 0
期間:	0	対象: 0
内容	0	

4.「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1)学校関係者評価の基本方針

「専修学校における学校評価ガイドライン」に基づいて学校関係者評価委員会を設置し、設定した評価項目を中心に評価を実施する。評価結果は公表するとともに、教育活動その他の学校運営に資するよう、校の内部での活用を図るものとする。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念・目標	1. 教育理念・目標
(2)学校運営	2. 学校運営
(3)教育活動	3. 教育活動
(4)学修成果	4. 教育成果
(5)学生支援	5. 学生支援
(6)教育環境	6. 教育環境
(7)学生の受入れ募集	7. 学生の募集と受入
(8)財務	8. 財務
(9)法令等の遵守	9. 法令等の遵守
(10)社会貢献・地域貢献	10. 社会貢献
(11)国際交流	-

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)学校関係者評価結果の活用状況

学校関係者評価結果は教務部門を中心に、下記のように活用している。

良いとされた部分は更に伸ばし、問題点が指摘された部分については早期改善が為されるよう、学校職員全体にフィードバックし、情報共有と改善策等の策定を行っている。また、教務責任者を中心に、カリキュラムへの反映を図れるよう検討を行うとともに、教務部だけでなく、事務局とも情報共有し、学校全体で提言の浸透と実現を図っている。

(4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

名 前	所 属	任期	種別
阿部 正喜	第一印刷株式会社	平成29年4月1日～	企業等委員
浅川 正巳	株式会社エクセルシステム	令和2年4月1日～	企業等委員
栗原 達勇	(卒業生)	平成29年4月1日～	卒業生

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ・広報誌等の刊行物・その他())

URL: URL: http://njc-web.net/openinfo/hyouka_school.pdf

公表時期: 2023/7/1

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」に基づき、企業等の学校関係者が連携に必要と考える学校の教育活動その他の学校運営に関する情報を継続的に提供していく。また、連携および協力に更に必要と思われる情報については、要請と必要性を鑑み慎重な判断をもって提供していく。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	学校の特徴
(2)各学科等の教育	学科・コース紹介
(3)教職員	教職員
(4)キャリア教育・実践的職業教育	学校の特徴
(5)様々な教育活動・教育環境	資格・就職実績、施設・設備紹介
(6)学生の生活支援	キャンパスライフ
(7)学生納付金・修学支援	入試・学費情報
(8)学校の財務	法人の財務状況
(9)学校評価	学校関係者評価
(10)国際連携の状況	-
(11)その他	-

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

(ホームページ・広報誌等の刊行物・その他())

URL: URL: <http://njc-web.net>

公表時期: 2023/7/1

授業科目等の概要

(工業専門課程情報システム科)															
分類	必修	選択必修	自由選択	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時間数	単位数	授業方法			場所		教員兼任	企業等との連携
									講義	演習	実験・実習・実	校内	校外		
1	○			コンピュータ概論	コンピュータの動作理解に必要な基礎知識、ハードウェア、システム構成要素、ソフトウェア、マルチメディア、人工知能について習得する。	1前	46		○	△		○		○	
2	○			システム開発技術	IT基盤の基本となる技術である、データベース、ネットワーク、セキュリティについて基礎知識を習得する。	1前	39		○	△		○			○
3	○			マネジメントと情報化	ITシステム開発者として必要なシステム開発技術、サービスマネジメント、システム戦略、経営戦略、OR・IE、企業会計、法務と標準化などの基礎知識を習得する。	1前	63		○	△		○			○
4	○			プログラム設計	ソフトウェア開発をする上で必要となる、アルゴリズム、データ構造などを学習する。	1前	40		○	△		○		○	
5	○			C言語	C言語の文法、特徴を学習し、プログラミングに必要な基本的知識を習得する。	1前	64		○			○		○	
6	○			C言語実習	C言語のプログラムの作成、実行、デバッグを行い、プログラムの基本的な作成法を習得する。	1前	120			○		○		○	
7	○			秋季国家試験対策科目A(旧午前)	コンピュータハードウェア、ソフトウェア全般を学習し、基本情報技術者試験の科目A(旧午前試験)合格に必要な知識を習得する。	1後	72		△	○		○			○
8	○			秋季国家試験対策科目B(旧午後)	ITシステム、データベース技術、ネットワーク技術、セキュリティ技術等を学習し、基本情報技術者試験の科目B(旧午後試験)合格に必要な知識を習得する。	1後	144		△	○		○		○	
9	○			春季対策(基本/応用情報午前)	問題演習を通して、基本/応用情報技術者試験の午前試験合格に必要な知識を習得する。	1後	36		△	③		○		○	
10	○			春季対策(基本/応用情報午後)	問題演習を通して、基本/応用情報技術者試験の午後試験合格に必要な知識を習得する。	1後	54		△	③		○			○
11	○			午前免除対策	基本情報技術者試験免除対象講座修了認定試験の合格を目的とし、問題演習を行う。	1前	108		△	○		○		○	
12	○			午前対策	基本情報技術者試験、応用情報技術者試験、ITパスポート試験などに共通する基礎を学習し、広範囲な知識を習得する。	1後	57		○			○			○
13	○			特別講義(情報処理2級対策)	サートファイ情報処理技術者能力認定試験2級の合格に必要な知識を習得する。	1前	18		△	○		○			○
14	○			表計算基礎	表計算ソフトExcelの基本的な使用方法を学び、問題演習を通して、サートファイExcel検定3級合格のために必要な技術を習得する。	1後	30		△	○		○			○
15	○			表計算応用	表計算ソフトExcelの応用的な活用方法を学び、問題演習を通して、サートファイExcel検定2級合格のために必要な技術を習得する。	1後	38		△	○		○			○
16	○			プログラミング実習Ⅰ	Android Studio を利用し、スマートフォンアプリケーションの基本的な開発技術を学ぶ。	1後	116		△		○	○		○	
17	○			HTML実習	HTML/CSS/JavaScriptを用いてHPを作成するための知識を習得し、実際にHP作成を行う。	1後	47		△		○	○		○	
18	○	##		就職実務	自己の振り返りを通じ、就職活動をスタートするにあたっての心構えを養うとともに、履歴書作成や面接のポイントを学ぶ	1後	60		○			○		○	
19	○			Java	Java言語の文法を学ぶと共に、統合開発環境支援ツールEclipseの操作法を学び、Javaプログラミング技法を習得する。	2前	63		△		○	○		○	
20	○			SQL	関係データベース操作言語 (SQL) の文法、プログラミング技法を演習を通して習得する。	2前	30		△	○		○		○	
21	○			SQL Server	SQL Serverをインストールし、基本操作を学びながら、データベースに関する知識と実践的なSQLの使い方を習得する。	2後	33		△	○		○		○	
22	○			Webプログラミング	Webシステム開発に必要なHTML、CSS、JavaScriptを総合的に学び、Webプログラミング技法を習得する。	2前	30			○		○		○	
23	○			JavaScript	Webシステム開発の企画、設計、開発を演習を通して習得する。	2前	40		△	○		○		○	
24	○			PHP	PHPをインストールし、アンケートシステムを開発しながらPHPの基礎とデータベースの関係操作を学ぶ。	2前	27		△	○		○		○	
25	○			Linux	Linux上にWebサーバーを構築しコマンドによる操作技術と知識を習得する。	2後	44		△	○		○		○	

